

<2021年5月25日版>

(一社)スポーツアズライフ八戸

【運営の総合型クラブデポルターレ八戸も準ずる】



【 SAZL ガイドライン No.4 】

感染症対策ガイドライン

1 心得

感染症は「高い人的流動性×乾燥環境×疲労・免疫低下×摂取水分不足」の要因により、時機を問わずいつでも発生し得ることを認識し、常にコンディショニングに細心の注意や対策をする。

2 感染症対策の意識啓発

(1)身体間距離の確保(Physical Distance)：“出来るだけ”身体の距離は遠く。心の距離を近く。

(2)三密回避：“出来るだけ”「密集・密接・密閉」環境を回避する。

①感染リスクが高いとされる大人数での会食を避け、特定の家族や友人以外との食事の際は黙食を徹底すること。

②常時換気のよい環境づくり・環境選択に尽力すること。

③マスクの着用を徹底し、マスクを着用しない会話は常に避けること。

(3)Offline with Online：オンラインを駆使して、オフラインの体験価値を高める。

3 行動指針

(1) 毎日の検温・健康観察を実施し、アプリ等での記録保存をし、常に法人に関する活動の前後2週間の健康状態を報告できるように努める。

(2)運動に際して事前のコンディショニングへの配慮及び運動中のコンディション状態を、こまめな注意喚起や声掛けによって常にモニタリングし合う。

(3) 活動開始前の時点で認識した体調不良者の運動実施は原則禁止とし、本人の意向を踏まえ、欠席や身体不可の少ない活動や活動見学等に従事するか、場合によっては、帰路に返す。

(4) 運動前・運動中・運動後のこまめな水分補給機会を確保する。

(5) 運動中も含め、出来るだけマスク着用を基本(指導者・引率者は必須)とする。マスク着用時に心拍数の高まる運動を実施する時は積極的にマスクの着脱を認める。

(6) 常時、手洗い・手指消毒の習慣を実践する。

(7)法人活動の関係者の「家族(本人含む)が感染症に罹患した、もしくは濃厚接触者に特定された」場合、法人代表(クラブマネジャー)に迅速に連絡を行い、その後の指示に従うこと。また、行政機関や所属長等からその件に関して指示があった場合も報告を行うこと。